

委員会活動

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、12月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(瀬戸口三郎委員長)は、曾於市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例など7件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案1件を賛成多数、議案3件を全会一致で可決、認定案3件を賛成多数で認定すべきものと決定しました。

☆曾於市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の制定

地方自治法の改正により、公の施設の指定を受けた指定管理者が管理を代行し、民間企業も参入できることになりました。

公の施設の管理者の指定については、市内業者を優先し、サービス、利用率の低下にならないよう意見を付して、可決すべきものと決定しました。

☆曾於市税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部改正に伴い改正するもので、今回の改正は、法改正に伴うものであると市民への啓発をし、理解を求める

べきとの要請をし、可決すべきものと決定しました。

☆曾於市大隅町弥五郎伝説の里設置及び管理に正する条例の制定

管理業務をして管理者制度へ移行するための一部改正であります。移行においては、財政面や住民サービスの低下にならないよう急ぐことなく十分な検討をし、移行すべきであるとの意見もあり、可決すべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算の補正

(第3号)

歳入歳出総額に、それぞれ3355万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ181億2687万1千円とするものであります。

歳入の主なものは、衆議院議員選挙委託金の157万9千円の追加と1091万7千円の財政調整基金繰入金であります。

歳出においては、各支所の市章取付工事費等や大隅町河原自治公民館の修繕費、末吉地区定住促進住宅建設補助金、消防団員の年報酬と末吉町楳分団のサイン設置工事費が主な追加であります。自治公民館建設事業補助金については質疑があり、修繕においては50万円以上の工事費で、その3分の1、増改築においても200万円を限度額としてその3分の1を曾於市自治公民館建設事業補助金交付規則を定め交付するとの答弁でありました。

☆平成16年度旧3町一般会計歳入歳出決算の認定

(末吉町) 歳出90億8070万6498円であります。乗合タクシーについては、今後、曾於市全域の運行を考えています。また、開発公社が所有する土地については、早急に目的活用するよう意見がでました。

(大隅町) 歳出73億9005万7千円でありま

す。公債費負担適正化計画の中で努力がみられま

(財部町) 歳出56億7242万570円であり、たからニュータウン事業は、宅地分譲48区画が整備され、すでに全区画が売却予定であります。

3町の決算については認定すべきものと決定しました。



好評により完売予定の「たからニュータウン分譲地」

文教厚生常任委員会

(渡辺利治委員長) は、平成16年度末吉町一般会計歳入歳出決算(所管分)など13件について委員会を開き、慎重に審査した結果、認定案12件を賛成多数、認定案1件を全会一致で認定すべきものと決定しました。

☆平成16年度旧3町一般

会計歳入歳出決算の認定

末吉町35億359万3

124円、大隅町23億9

786万3469円、財

部町18億7665万76

11円の執行であります。

各町窓口業務や各種証明も電算化により効率的正確さで今後も住民サービスに努めます。保健福祉は、全国的な少子高齢化に伴い各種の救護や福祉施設のサービスを実施しました。大隅町では子育て支援センターがあり、好評で市全体へも普及するよう予算化も検討することでした。財部町のリサイクルプラザ事業負担金は都城市に完成し

た施設を利用しなかつたので負担金の返還や李比野地区の堆肥問題については行政指導を徹底するよう申し入れをした。大隅恒吉地区診療所は、週2日の診療で地域医療充実しに貢献している。16年度で最後の卒業式を迎えた各学校での思いは感無量だと思いが、木造りの温もりある新生大隅中学校での成長を見守ることとであります。他の学校においても一新して学業に励んでいることが伺える。パソコンリースが満期を迎えましたが引き続き利用することとあります。学校給食もそれぞれ工夫され地産地消に取り組んでいる。財部中谷小学校の山村留学は素晴らしく、17年の希望

者はいないが、更に呼びかけることとした。教職員の地域居住を望むが、強制力がないとのことである。奨学金も各町ともに有効活用され滞納もなく、生涯学習講座も充実した事業がされています。各町社会教育関係施設の利用増の検討や保守点検、委託料等見直しをするよう申し入れをし、審査の結果、賛成多数で認定すべきもの決定しました。

☆平成16年度旧3町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

末吉町22億2322万

3533円、大隅町13億

8328万9239円、

財部町13億8299万8

083円の執行でありま

す。国保税未納対策に各

町ともに苦慮しているが、

減免申請等の軟化を求め

た。高額療養費では、都

城市のように受診者が差

額分だけ支払う委任払い



文教厚生委員会現地調査 (財部一般廃棄物最終処理場にて)

を、再度、県へ要請することです。

☆平成16年度旧3町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定

末吉町29億1939万

9806円、大隅町21億

7122万9889円、

財部町18億9782万1

128円の執行でありま

す。本格的な高齢化社会

の到来に対応するため、

疾病の予防や治療、訪問

看護に係る総合的な保険

事業を実施している。老

人医療受給者は減少する

が、その後は、増加に転

ずることとした。

☆平成16年度旧3町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

末吉町14億8913万

5017円、大隅町12億

1583万7295円、

財部町7億9177万8

815円の執行でありま

す。介護予防は、介護が

必要な状態になるものを

予防し、元気で自立した生活を保つための取り組みであります。また、要介護者等を社会全体で支援するものとして、制度創設から5ヶ年を経過したが、急速な高齢化は進み認定者も増え続けることはさけて通れないが、心も身体も元気で長生きできる取り組みが必要不可欠である。

以上、3特別会計の審査の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

☆平成16年度財部町生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定

6901万7610円

の執行であります。内容については、一長一短であるが、管理委託料が今後財政負担を大きくする懸念があり、検討見直しをするよう申し入れをいたしました。審査の結果、全会一致で認定すべきもの決定しました。

建設経済常任委員会

(吉村幸治委員長)は、曾於市土地改良事業分担金徴収条例など16件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案9件を全会一致で可決、認定案7件を全会一致で認定すべきものと決定しました。

☆曾於市土地改良事業分担金徴収条例の制定

旧条例を暫定施行し対応していたが、事務事業の一元化を図るため制定するものであります。

今までの旧町の規則はどうなっているのかとの問いに、農地の災害で財部町20%、末吉町30%、大隅町40%であったが今後は、20%の統一になるとの答弁がありました。

☆曾於市公共下水道条例の一部を改正する条例の制定

下水道浄化センターに、指定管理者を置くことができる旨を制定するものであります。現在の委託

検討はするとの答弁がありました。

☆平成17年度曾於市水道事業会計予算の補正(第2号)

八合原水源のボーリング掘削の問いに、今後のために新しい水源を掘削する予定であるとの答弁があり、また、水道は住民にとって必要不可欠であるので、利用者に支障がないよう最大の努力をされるよう要望がなされました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算の補正(第3号)

農道清掃についての考え方はとの問いに、業者委託、シルバー人材センター委託、地元作業があるとの答弁がありました。次に、合併後の登記委託はとの問いに、末吉町は職員3名で対応、財部町は嘱託職員1名で全般的に対応、大隅町は職員2名では足りず司法書士へ委託しているが、今後、

研修センターには事故防止のため継続して指導員を置いてほしいがとの問いに、事故防止のため末吉、財部は置いている。

今後、十分検討して統一を図っていききたいとの答弁がありました。(大隅町)

地域振興大会は合併後はとの問いに、今後も予定をしており、補助金を

交付規則もそのまま新市に引き継いでいるとの答弁がありました。次に、集落道整備事業補助金の支給基準についての問いに、延長50m以上で幅員3m以上の路線に支給をしており、今後も継続していくとの答弁がありました。なお、曾於市全体に

緊急性や交通量等勘案しながら限られた予算の中で効果的な予算執行にあたられるよう要望がなされました。

(財部町)道のオアシスきらら館の雨漏り工事の問いに、きらら館は新築ではなく10年程経った建物を購入し改築したも

ので老朽化によるものであるとの答弁がありました。次に、道路維持補修員の問いに、直営作業班7名で道路のやぶ払いをおこなっている。18年度以降も続けていきたいとの答弁がありました。

☆平成16年度各簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

給水負担金及び水道使用料の格差の解消はどうなっているのかとの問いに、18年度に水道運営審議会を立ち上げ、約5年を目途に調整をおこなっていききたいとの答弁がありました。なお、統一の使用料となるよう企業努力に期待し、市民に安心、安定した水の供給をするよう要望もありました。



曾於市有機センターで説明を受ける建設経済委員

私たちが作ります



議会広報等調査特別委員会として、第3号を初めて発行することができました。内容的には、平成16年度決算を中心に編集しております。より分かり易く、読み易い速報性のある広報誌作りに努めてまいります。

市民の皆様のご意見をお聞きしながら、曾於市議会だよりを発行してまいりますのでよろしくお願ひします。

大川原 主税委員長

曾於市が誕生して早や8ヶ月が経とうとしております。

今回、12月議会の委員会構成にて広報を担当することになりました。

曾於市議会だよりの編集では、分かり易く、読み易い紙面作りをするよう委員一同努力して参りますのでよろしくお願ひ致します。

大川内 富男副委員長

1年生議員にして、議会だよりの編集に係れますことを議会人修養の早道と感謝し取り組んで参ります。そして、また刻々と作り生まれる曾於市議会の歴史の最先端に生きることの辛さを感じながら・・・

八木 秋博委員

曾於市が誕生して、旧町

に引き続き議会だよりを発行することになり、このたび議会広報等調査特別委員会に選任され旧末吉町議会広報委員の経験を生かしながらできるだけ早く、正確に広報し、見易い、読み易い、分かり易い議会だよりを市民の皆様にお届けしたいと思ひます。

ご感想などありましたらお寄せください。

大休寺 守委員

五位塚 剛委員

議会だよりの編集に当ることに成り、身の引き締まる思いで一杯です。「安心して暮らしたい」すべての住民の願ひです。議会活動の原点だと思ひます。

西川 熊則委員

議会だよりの発行は平等、慎重、正しくを心がけ、皆様方に早くお届けしたいと願っております。

議員に対する住民の期待は大きなものを感じます。市長が提案したものであっても、住民に不利益になるものは議会のチェック機能が求められます。

議会だよりは、議会の活動をお知らせする広報誌です。市民の声も期待します。

五位塚 剛委員

五位塚 剛委員



議会広報等調査特別委員会

- 議長 坂口 幸夫
- 委員長 大川原主税
- 副委員長 大川内富男
- 委員 八木 秋博
- 委員 西川 熊則
- 委員 大休寺 守
- 委員 五位塚 剛

次の定例議会は3月です 傍聴席はあなたが主役

議会を傍聴することは、市民として市政を知る最もよい方法です。ぜひ、議会を傍聴するよう心がけましょう。定例会は、3月・6月・9月・12月です。

議会を傍聴されたい方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

☎0986-76-8816